

だいさん

山北第三地区
福祉協議会
広報部



第三地区福祉協議会 前会長 室田敬造

令和六年度を振り返って

昨年四月に会長に選任され早一年が過ぎました。在任中は、自治会役員をはじめ各団体の皆様には大変お世話になりました。至らない点も多々あったかと思いますが、こうして任期を終えることができましたのも、皆様のサポートのおかげと感謝しております。誠にありがとうございました。

コロナウイルスの五類への移行に伴い、最小限度の制約をしながら各部会の活動も役員委員の皆様のご協力を得て実施することができました。

ふれあい部会では、「パークゴルフ大会」を三十三名の参加を得て会場までのウォーキングとパークゴルフを楽しんでいたことができました。

はないでしょか。

助け合い部会では、「ひとり暮らし高齢者訪問活動」として年三回、高齢者宅の訪問活動を実施することができました。訪問先では、一人ひとりの健康状態を確認すると共にボックスティッシュや可燃ゴミ袋等を配布しました。

広報部会では、「だいさん」の広報誌七四号と七五号を発行することができました。

誌面には、環境部会の植栽活動やふれあい部会のパークゴルフ大会の様子を掲載しました。しかし残念ながら、七月に予定していました総務主催の役員・委員視察研修会は、参加者が予定人数に達しないということになり、やむなく実施を断念することになりました。また十月に開催を予定していました、ふれあい部会主催の「ふれあいおたのしみ会」についても、会場で密になることからコロナウイルス感染の懸念が払しょくできない状況

等から開催を中止することとなりました。少子高齢化が進む昨今、山北第三地区福祉協議会の活動を推進するためには、特に第三地区

春秋の環境美化活動を行って

環境部会長 飯田 克

環境部会では、5月と10月に鉄道公園と山北駅南口の花壇に花苗の植栽作業、7月に草取りと剪定、清掃作業をおこないました。

環境部会長になったものの、どんな花を植えれば良いのか、肥料や水をどのくらいあげれば良いのか、まったくわかりませんでした。環境部会には大勢の協力員さんが居られ、何年も継続してご協力いただいています。わからないことは協力員さんに聞けば何でも教えてくれますし、そろそろ水を撒くころかなど花壇に行ってみると、すでに撒いてあったり、花壇の様子を見に行くと草がむしってあったりという事が度々ありました。また、自治会長さんや役員の方、町の職員さんにも積極的に活動していただき、とくに7月の暑い中での作業もほぼ全員の方が参加してくれました。今年度の活動が例年通り行えたのは皆さんのおかげです。1年間どうもありがとうございました。



令和6年10月26日
秋の環境美化活動の作業メンバー及び鉄道公園前、
駅南口付近の植栽後のスナップ

の皆様の支えが大切となってきます。今後も、皆様のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

助け合い部会の 活動を振り返って

助け合い部会長 工藤 茂男

例年助け合い部会の活動として、年三回（六月、十月、二月）の1人暮らし高齢者（70才以上、第二ブロックで71家庭）訪問を行っています。

各自治会長と民生委員の二人若しくは三人で、家庭用ゴミ袋などのお土産を持って、該当家庭を訪問しています。

私は昨年自治会長として、怒杭文化地区の18軒の家庭を訪問しました。

この時に一緒に回った民生委員の方に地区の高齢者の様子を伺ったりしながら回りました。

この訪問で同じ地区に住んでいるが今迄知らなかった人、話かけたこともなかった人たちと交流することができました。

普段から民生委員、自治会長だけでなく近所の人達が声を掛け合っていくことが地震など「いざ」という時に役立つのかと思います。

この活動は、一人暮らし高齢者の訪問ですが、地域の人が見守っていけるようにできればと思います。ここでの経験をこれから活かせればと思います。

ふれあい部会はふれあう部会
活動を振り返って

ふれあい部会長 津田将美

令和六年度のふれあい部会の活動は、ここ数年感染症対策のために中止になっていた、「ふれあいお楽しみ会」の実施が大きな課題でした。昨年度より参加対象を七十五歳以上とさせていただきましたが、やはり高齢の方を募ることを考えると、コロナを含めた感染症の推移を注視する必要があります。

お楽しみ会前の最終打ち合わせ時の感染状況が昨年度並みに増えてきていることから、令和六年度も中止の判断といたしました。

もうひとつの大きな行事である、「ふれあいパークゴルフ」については、今年度も昨年度以上に多くの参加者を集めて開催することができました。この行事は以前行われていた「ふれあいウォーキング」の趣旨も兼ねていますので、会場まではみなさん安全に楽しく会話をしながらの移動でした。

上手な人、苦手な人、負けず嫌いの人、失敗しても笑顔の人……。いろいろな人がそれぞれの色を出しながら、人と人とのふれあいを楽しみました。たくさん賞を出させていただきましたが、やっぱり一番の賞は、このふれあいなのかな、と感じました。



令和6年11月17日実施 山北町パークゴルフ場

コロナは五類になったとはいえ終息のめどが見えず、ふれあい部会の活動も過渡期にあるようです。それでも、「ふれあい部会はふれあう部会」という意識をもって役員、協力員一同、一年間努めてまいりました。その中で、たくさんの方の笑顔にふれることができたことは、大きな喜びにもなりました。

次年度も「ふれあう」ことを大きな目標にしつつ、参加者の安心・安全に配慮した活動を目指していきます。

皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

家族みんなで「モルック」しましょう！開催

山北地区青少年健全育成会会長 瀬戸利彦

令和6年10月12日(土)、残暑の山北町スポーツ広場にて、山北地区青少年健全育成会と山北町生涯学習課スポーツ推進委員共催で「家族みんなで「モルック」しましょう」と称し、モルック競技大会を行いました。

当日は、好天の早朝から児童を含む山北地区自治会会員22名参加のもと、盛大に「モルック競技」が行われました。参加者全員、初めての競技という事で、スポーツ推進委員指導のもと、各自治会・家族等でチームを2チームずつ編成し、チーム毎に投げる順番を決め、並べた「スキットル(得点が書かれたピン)」に向かって「モルック(木製の棒)」を投げ、倒した



スキットルの本数(点数)の合計がピツタリ50点なるまで行う競技です。

参加された皆さんは、当初は緊張の面持でしたが、慣れてくると大きな歓声を上げてみんな夢中になりました。

育成会主催の家族で楽しめるレクレーション、皆さん楽しく過ごしていました。新しい競技として好評いただき、今後とも継続して行っていききたいと思います。



日頃より広報部会の活動に、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、今年度も新型コロナウイルスを含めた感染症の影響により、お楽しみ会が中止なるなど、第三福祉協議会の活動にもまだ影響が及んでおりましたが、今年度は徐々に行事が行われ広報に載せご報告することが出来ました。ありがとうございます。

今年度は、第74号及び75号を白黒ではなく初めての試みとして、カラー印刷での発行を行いました。その結果、掲載写真の花の色、空の色、皆さんの顔の表情が浮かび上がりとても良い仕上がりになったと思います。これを機に今後もカラー版の発行の継続をお願いしたいと思います。

最後に、今後も第三福祉協議会広報部会の活動にご理解、ご協力よろしくお願ひしまして、令和6年度広報部の活動報告といたします。



広報部会活動を振り返って

広報部会長 相田武起